

小ギクのつぼみ切り花の開花技術

【背景・目的・成果】一斉収穫したつぼみ切り花を商品化するため、専用の開花液と人工的な開花環境下で、通常の切り花と同等の品質で開花させる技術を開発しました。



つぼみ状態で収穫

開花処理

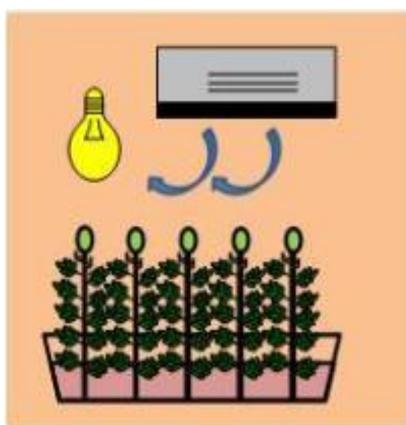


開花(出荷)の状態

開花液組成

- ◆シヨ糖：3% (300 g/L)
 - ◆チオ硫酸銀錯塩 (STS)：0.03 mmol (3~7 mg/L , 商品濃度で調整)
 - ◆界面活性剤 (ポリオキシエチレンソルビトール)：0.03% (3 mg/L)
 - ◆抗菌剤 (8-ヒドロキシリソ硫酸塩)：200 ppm (2 g/L)
- () 内は開花液10 L を作成する場合の量を示す

開花環境



- ◆気温：20~25 $^{\circ}\text{C}$
- ◆照度：1,000~2,000ルクス
- ◆日長：12時間
- ◆通常の水上げと同様に開花液を吸わせる

【技術の活用】開花処理は簡易な施設で、出荷調節・災害回避・省エネ技術として有効です。